

事業評価シート

事務事業名	一時保育事業	担当課名	幼児教育課
総合計画の 主要施策名	児童福祉施設の充実	班 名	幼児総務班
		事業コード	3313

事業の目的	家庭における育児が断続的に困難となる乳幼児を一時的に保育し、在宅保育者への支援を図ることを目的とする。			
事業の内容	保護者の就労形態や傷病・私的理由などにより、緊急かつ一時的に保育が必要となる乳幼児の保育を行う。			
事業の対象	保育の実施の対象とならない、就学前児童			
事業コスト	区 分	H18決算	H19決算	H20予算
	事業費 (千円)			
	うち一般財源等 (千円)	3,749	3,915	3,789
	人件費 (千円)	4,796	4,901	4,929
総コスト +	4,796	4,901	4,929	

事業実績・成果 (指標)	名 称	単位	H18年度実績	H19年度実績	H20年度(予定)
	延べ利用児童数	人	669	632	650

事業 の 評 価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
	増加	横ばい	減少	かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与していない	できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
事業 の 評 価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない

総合評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている
------	---	----------------------

判定説明 及び考察	一時保育事業の延べ利用児童数は、ほぼ横ばいで推移しているものの、サービスを必要とする保護者の多様なニーズを考慮した事業の実施が行われており評価できる。
--------------	---

事業の 方向性	さらに重点化する 現状のまま継続する 見直しのうえ継続する 事業の縮小を検討する 休止、廃止を検討する	評価委員意見	部局評価のとおり。
------------	---	--------	-----------